
開講科目名：税務会計研究（A）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程 会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：永田 千香

《授業の概要》

【授業の目標】納税者のタックスプランニングに貢献できる基礎理論力の強化を目標とします。

【授業の概要】

本講義では、理論と実務の両面から、税務会計の目的である課税の基準となる課税所得の計算や、課税価額の評価を目的とする会計を研究します。理論の面では、企業会計と課税所得の計算との差異を中心に考察し、実務の面では、税制改正や時事問題等を適宜に紹介する予定であります。

税務会計研究（A）と税務会計研究（B）との関連性が深いため、（A）（B）通年での受講が望ましいと考えます。主に講義形式で行います。

【授業の内容】

1. 制度会計における税務会計
2. 税務会計の概要
3. 税務会計学
4. 課税所得の計算構造
5. 消費税の会計
6. 販売収益
7. 役務収益・請負収益
8. 譲渡収益・受贈益・債務免除益
9. 受取利息・使用料・受取配当等
10. リース料・その他の収益
11. 引当金
12. 準備金
13. 資本金等の額
14. 企業集団税制
15. 同族会社税務

【評価方法】

講義での発言・取り組み等総合的に判断します。

《テキスト》

講義において資料を配布する予定です。